

共感を広げるコミュニケーション

カシオが商品を通じて提案する新しい価値をお客様に理解していただくために、さまざまなコミュニケーションの工夫をしています。

1 SHOCK THE WORLD

G-SHOCKの本質である「タフネス」を、ファッション、音楽、スポーツ、アートを通じて若者に発信しています。2008年、ニューヨークでの成功を機に世界各地で開催し、2009年は世界19都市、2010年は世界23都市で実施しました。

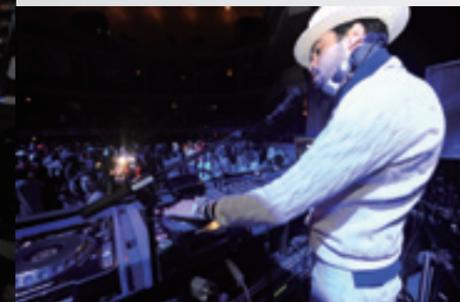
世界中に巻き起こす“G-SHOCK”旋風

G-SHOCKのメッセージを直接発信する場として、世界各国で大盛況を博しているのが「SHOCK THE WORLD」です。G-SHOCKのことをもっとよく知り、ブランドの世界観を共有してもらうことで、さらなるブランドステージの向上を目指しています。

ワールドツアーでのイベントという形式は、世界中で愛されるG-SHOCKならではの発想です。生のコミュニケーションを重視したこのイベントでは、製品のみならず、若者文化をミックスした演出により、アーティストやダンサーなど多彩なゲストと来場者が、G-SHOCKという共通語で一体となり、体験を共有します。



A M E R I C A



E U R O P E



A S I A



2 グローバルティーチャーズミーティング

2010年8月下旬に、東京のカシオ本社に北米・欧州・豪州などの数学の先生を招き、グラフ関数電卓のカラー化による教育的効果などを議題にしたミーティングを実施。教育現場でより役立つ関数電卓を目指して議論を展開しました。

関数電卓の活用方法を先生とともに考える

欧米では、数学の授業に広く関数電卓が使われています。カシオは計算機のトップメーカーとして、世界中の教育現場から寄せられる期待や要望に応えるため、高精細カラー画面を搭載したグラフ関数電卓など、教育に役立つ製品の開発に積極的に取り組んでいます。その一環として、重視しているのが先生とのコミュニケーションです。実際に関数電卓を使った授業を組み立てる立場の先生たちと意見を交わしながら、どういった教材なら教えやすいのかを一緒に考えています。



3 中国楽器コンテスト

中国で開催されている全国キーボードコンテストは、国際交流や慈善事業を実施する公共機関「宋慶齡基金会」が主催して1986年に第1回大会が開かれました。その後2年ごとの開催で、カシオは第2回から協賛。2010年の第13回大会からは主催者となりました。

音楽の楽しさを伝える楽器コンテスト

楽器の楽しみ方は人それぞれですが、演奏を人に聞かせることで上達が進み、満足度も高まります。市場に商品を提供するだけでなく、大勢の前で演奏を披露できる場を提供することも、音楽の楽しさを知ってもらう大切なコミュニケーションのひとつです。カシオは中国でキーボードコンテストの全国大会を支援しています。2010年8月には、中国全土から参加した7,000人の中から、予選を勝ち抜いた子供たちが桂林市に集結し、素晴らしい演奏で人々を感動させました。

